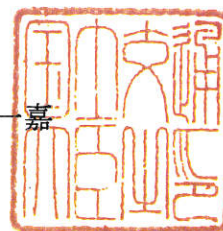


認定書

国住指第 1917 号
令和元年 11 月 1 日

因幡電機産業株式会社
代表取締役社長 喜多 肇一様

国土交通大臣 赤羽 一嘉



下記の構造方法等については、建築基準法第 68 条の 25 第 1 項（同法第 88 条第 1 項において準用する場合を含む。）の規定に基づき、同法施行令第 129 条の 2 の 4 第 1 項第七号ハ（防火区画貫通部 1 時間遮炎性能）の規定に適合するものであることを認める。

記

1. 認定番号
PS060FL-1082
2. 認定をした構造方法等の名称
被覆材付配管・鋳鉄製管継手／セメントモルタル充てん／床耐火構造／貫通部分（中空床を除く）
3. 認定をした構造方法等の内容
別添の通り

（注意）この認定書は、大切に保存しておいてください。

1. 構造名：

被覆材付配管・鋳鉄製管継手／セメントモルタル充てん／床耐火構造／貫通部分(中空床を除く)

2. 寸法等の仕様：

寸法等の仕様を表1に示す。

表1 寸法等の仕様

項 目		仕 様
開口部	形状	円形(φ210mm以下)
	面積	0.035m ² 以下
占積率 (開口面積に対する配管の断面積の総合計の割合)		52.4%以下
貫通する床の構造等		ALCパネル又は鉄筋コンクリート造 厚さ 100mm以上 (貫通部措置材①を用いる場合) 厚さ 150mm以上 (貫通部措置材なし又は 貫通部措置材②を用いる場合)

3. 主構成材料の仕様 :

主構成材料の仕様を表 2 に、配管の仕様を表 3 に示す。

表2 主構成材料の仕様

項目		仕様	
被覆材		材料	ポリオレフィン系樹脂不織布付軟質塩化ビニル樹脂シート・PET フェルト
		寸法	厚さ：14.2mm 以下 被覆長さ：300mm 以上(立て管、横枝管の場合)
		使用箇所	1) 立て管 2) 横枝管(あり又はなし)
	表面材	材料	ポリオレフィン系樹脂不織布付軟質塩化ビニル樹脂シート
		材質	仕様：あり又はなし ポリオレフィン系樹脂不織布
		質量	
		材質	軟質塩化ビニル樹脂シート
		組成 (質量%)	
		厚さ	2.2mm以下
		密度	
	基材	材料	PETフェルト
		組成 (質量%)	
		厚さ	12mm以下
		密度	
耐熱シールシート材		材料	化粧材付熱膨張材・合成ゴム混入無機質充てんシート
		寸法	総厚：2.225mm以上、幅：40mm以上
		設置箇所	受け金具の内面に沿うように取り付け
	化粧材 1 (受け金具側)	材料	仕様：あり又はなし アクリル系粘着テープ
		厚さ	0.2(±0.05)mm以下
	シート	材料	熱膨張材・合成ゴム混入無機質充てん材
		厚さ	2mm以上
	化粧材 2	組成 (質量%)	
		材料	仕様：あり又はなし ポリオレフィン系フィルム
		厚さ	25(±10) μ m以下

つづく

つづき

貫通部措置材	①	表面材	材料	仕様：あり又はなし アルミニウムはく張ガラスクロス張バルブ混入ロックウールフェルト		
			寸法	総厚さ：10.13(±4)mm、幅：110mm以上		
			使用箇所	床貫通部の管継手の周囲に巻き付け		
		フェルト	材料	アルミニウムはく張ガラスクロス (ゴム系粘着剤付)		
			寸法	総厚さ：0.13mm以上		
			組成 (質量%)			
		パッキン材	材料	仕様：あり又はなし エチレンプロピレンゴム (EPDM)		
			厚さ	10mm以下		
			幅	40mm以下		
			接着剤			
			使用量			
		テープ	材料	アルミニウムはく張ガラスクロステープ (ゴム系粘着剤付)		
			寸法	総厚さ：0.13mm以上		
		②	シート	用途	パッキン材及び貫通部措置材①の固定用 (パッキン材と貫通部措置材①の境目、貫通部措置材①同士の境目、貫通部措置材①と管継手の境目にテープを貼り付け)	
				材料	仕様：あり又はなし 熱膨張材混入樹脂シート	
	寸法					
	テープ		使用箇所	床貫通部の管継手の周囲に巻き付け		
			材料	仕様：あり又はなし 熱膨張材混入樹脂シート		
			組成 (質量%)			
			厚さ			
	充てん材		テープ	密度		
				材料	仕様：あり又はなし	
			使用箇所 (使用量)	厚さ	0.2mm以下	
用途		シートの施工用				
材料		セメントモルタル				
使用箇所 (使用量)	組成 (質量%)	普通ポルトランドセメント	25			
	組成 (質量%)	砂	75			
		使用箇所 (使用量)	床と排水管(管継手)の隙間 (貫通部措置材①を用いる場合： 床厚方向100mm以上密に充てん) (貫通部措置材なし又は 貫通部措置材②を用いる場合： 床厚方向150mm以上密に充てん)			

表3 配管の仕様

項目		仕様					
排水管	管継手	材料	本体：ねずみ鋳鉄品 (JIS G 5501) 表面処理：エポキシ樹脂系粉体焼き付け塗装 ゴムパッキン：合成ゴム 横枝本数：3本以下				
		種類	受口タイプ (床上) 差口タイプ (床下)				
		外径	φ152mm以下				
	ソケット	材料	仕様：あり又はなし 本体：排水用硬質ポリ塩化ビニル管継手 (JIS K 6739) ゴムパッキン：合成ゴム				
		寸法	外径：150.6mm以下 内径：115.7mm以下				
	立て管	硬質ポリ塩化ビニル管 (JIS K 6741、JIS K 6742、JIS K 6776) (VP管、HIVP管、HT管) 受口：あり又はなし ゴムパッキン：合成ゴム (エポキシ樹脂系粘着材付：あり又はなし)		外径	φ114mm以下 (受口：φ146mm以下)	厚さ	7.1mm以下
		硬質ポリ塩化ビニル管 (JIS K 6741、JIS K 6742、JIS K 6776) (VP管、HIVP管、HT管)					φ114mm以下
	横枝管	耐火二層管 (国土交通大臣認定：PS060FL-0401、0383、0454 において配管として規定される繊維混入セメントモルタル被覆合成樹脂管)		外径	外管： φ138mm以下 内管： φ114mm以下	厚さ	外管： 5.5mm以上 内管： 7.1mm以下

4. 副構成材料の仕様：

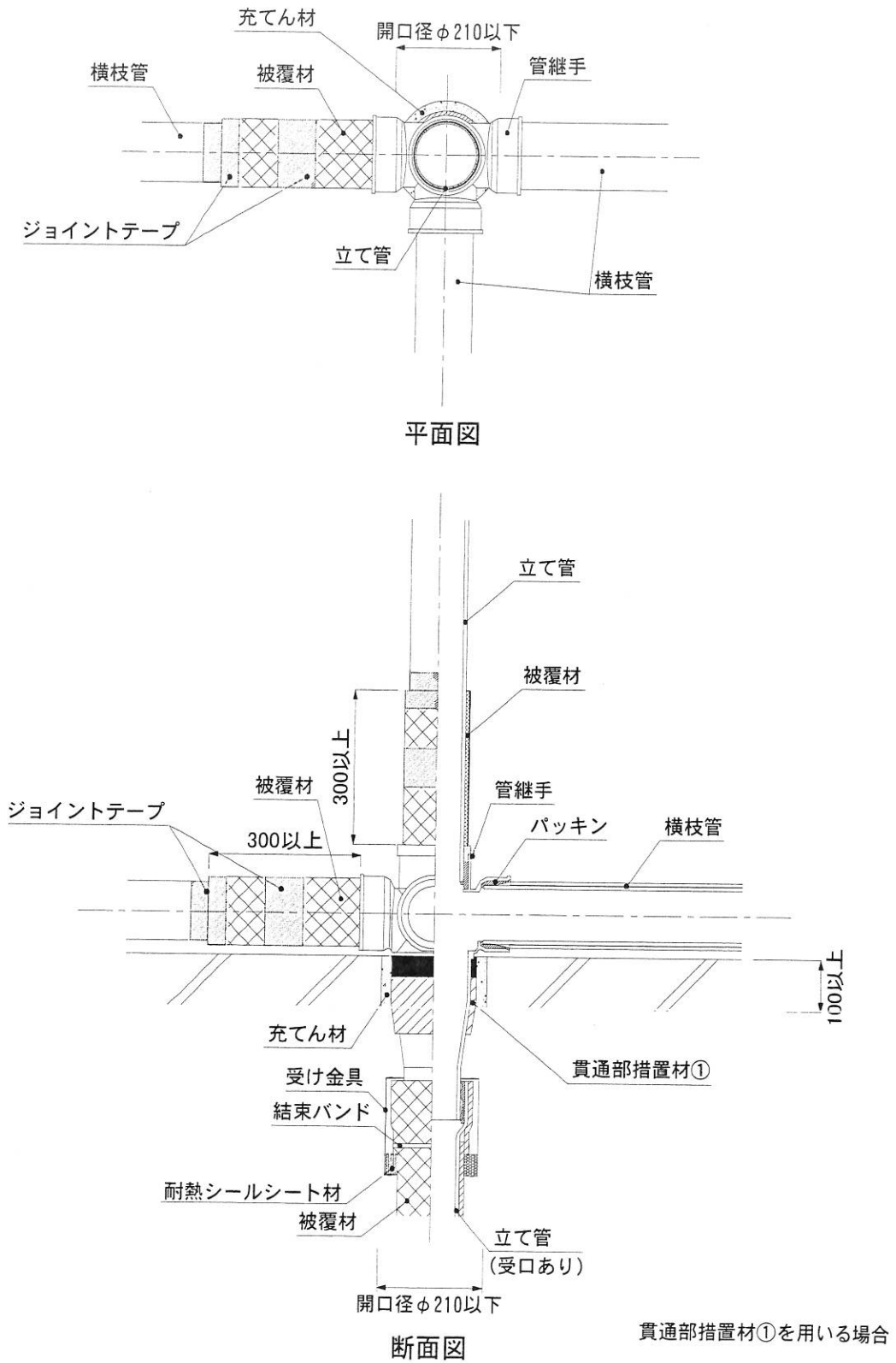
副構成材料の仕様を表4に示す。

表4 副構成材料の仕様

項目		仕様	
ジョイントテープ	材料	合成樹脂製 (合成ゴム系粘着剤付)	
	寸法	厚さ：0.95mm以下、幅：76mm以下	
	使用箇所	被覆材と配管の端部、被覆材同士に使用	
受け金具	側面部	材料	1) 又は 2) 1) 鋼板 (めっき処理品、焼付塗装品含む) 2) ステンレス鋼板
		使用箇所	管継手下部に設置
	上下部	寸法	外径：φ185 (±15) mm以下 高さ：185 (±15) mm以上 厚さ：0.5 (±0.1) mm以上
		寸法	外径：φ185 (±15) mm以下 厚さ：1.0 (±0.1) mm以上
結束バンド	材料	1) 又は 2) 1) 鋼板 (めっき処理品、焼付塗装品含む) 2) ステンレス鋼板	
	寸法		
	使用箇所	被覆材の受口部の固定に使用	
被覆材用テープ	材料	1) 又は 2) 1) 合成ゴム系粘着剤付布テープ 2) アクリル系粘着剤付合成樹脂テープ	
	寸法	厚さ：0.3mm以下、幅：76mm以下	
	使用箇所	被覆材の円筒状への貼り合わせに使用	

5. 構造説明図：
 構造説明図を図1～図4に示す。

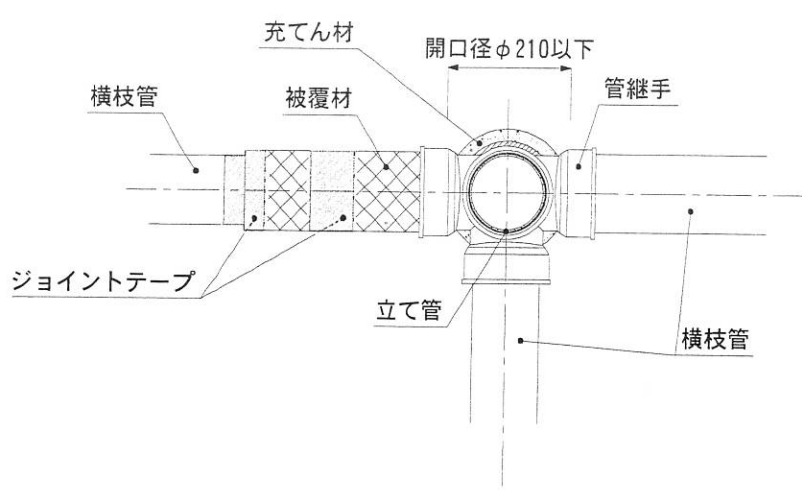
単位mm



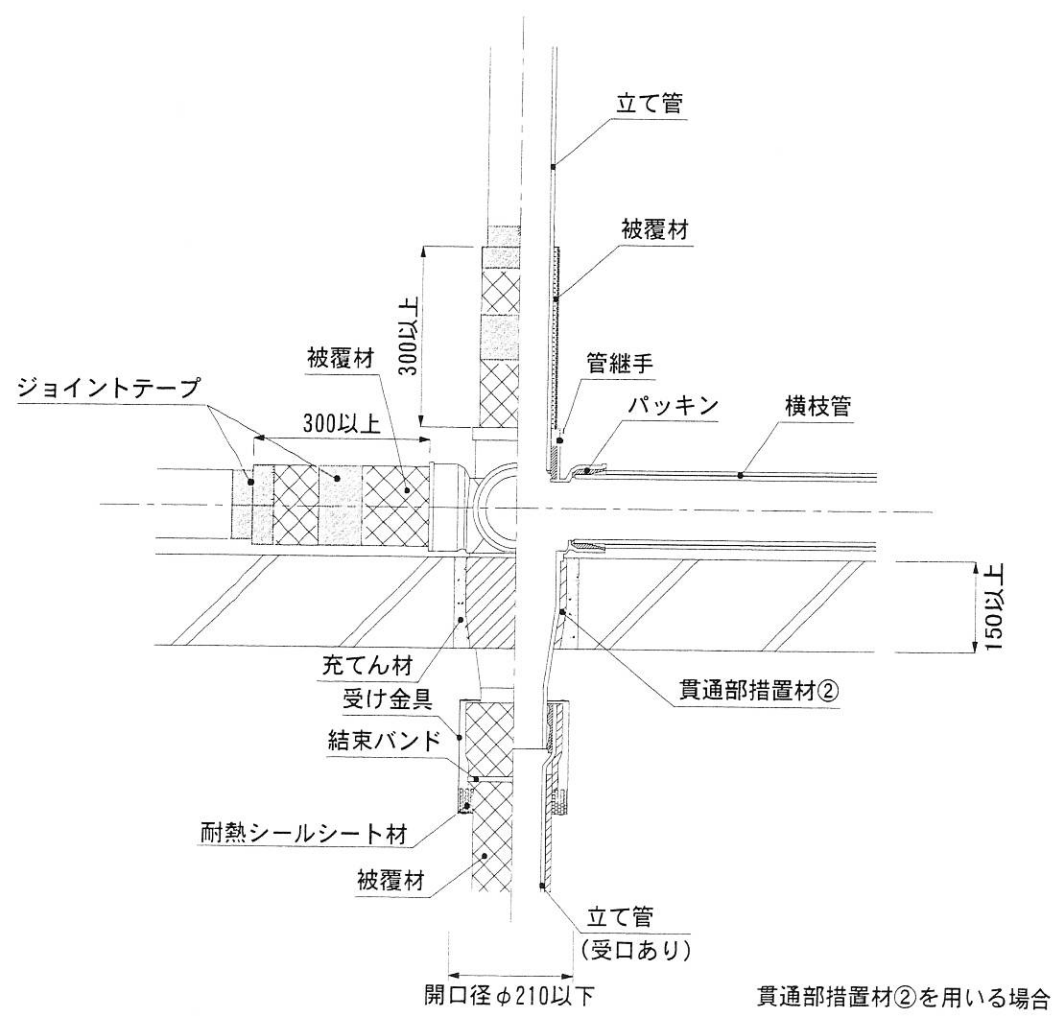
管継手下部の接続部に立て管の受口仕様を用いた場合 (代表例)

図1 構造説明図 (施工図)

単位mm



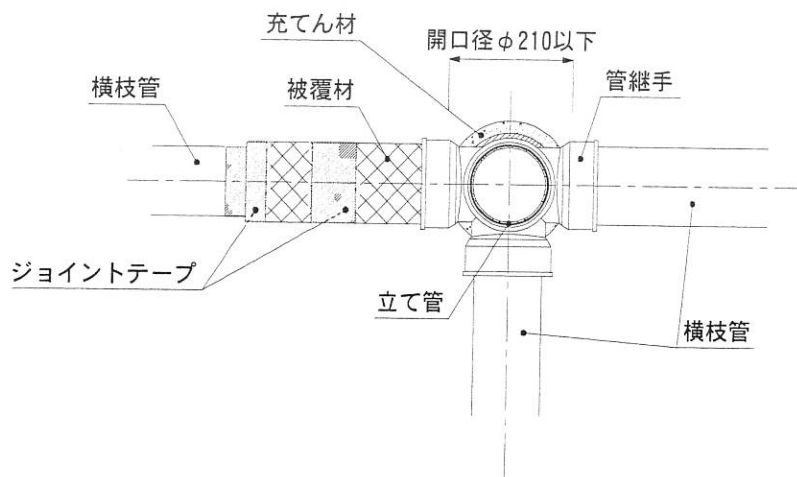
平面図



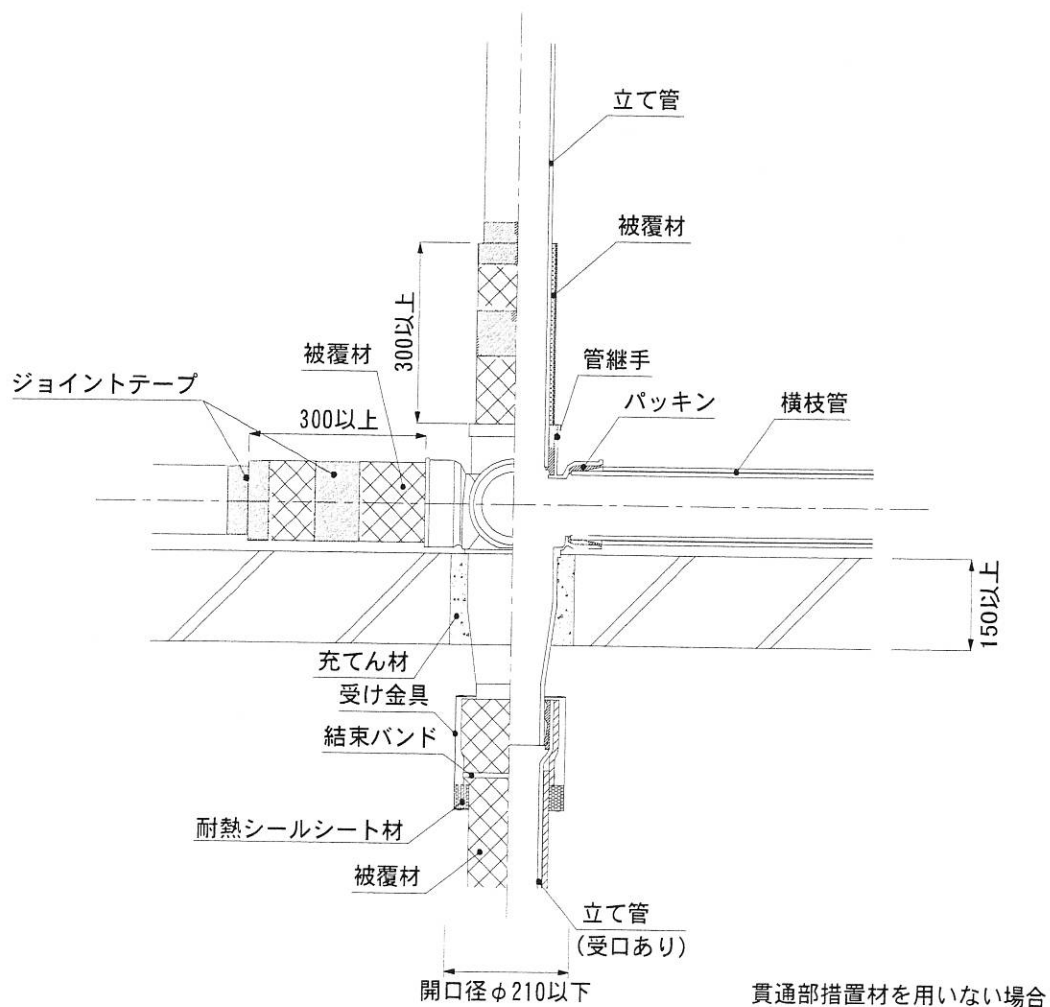
断面図

管継手下部の接続部に立て管の受口仕様を用いた場合 (代表例)

図2 構造説明図 (施工図)



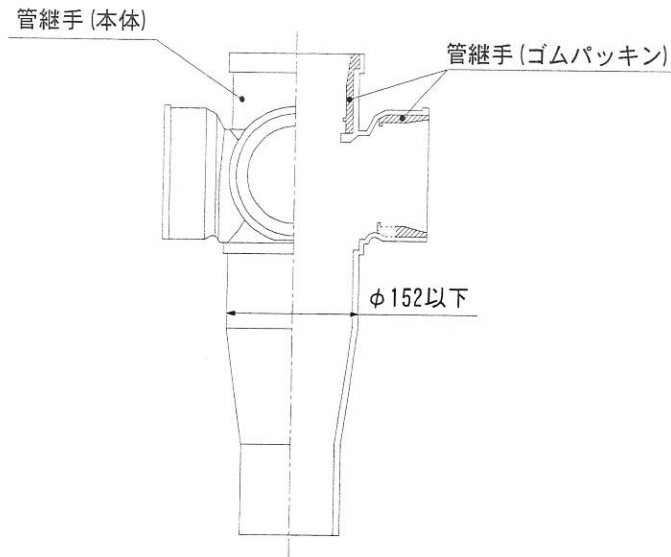
平面図



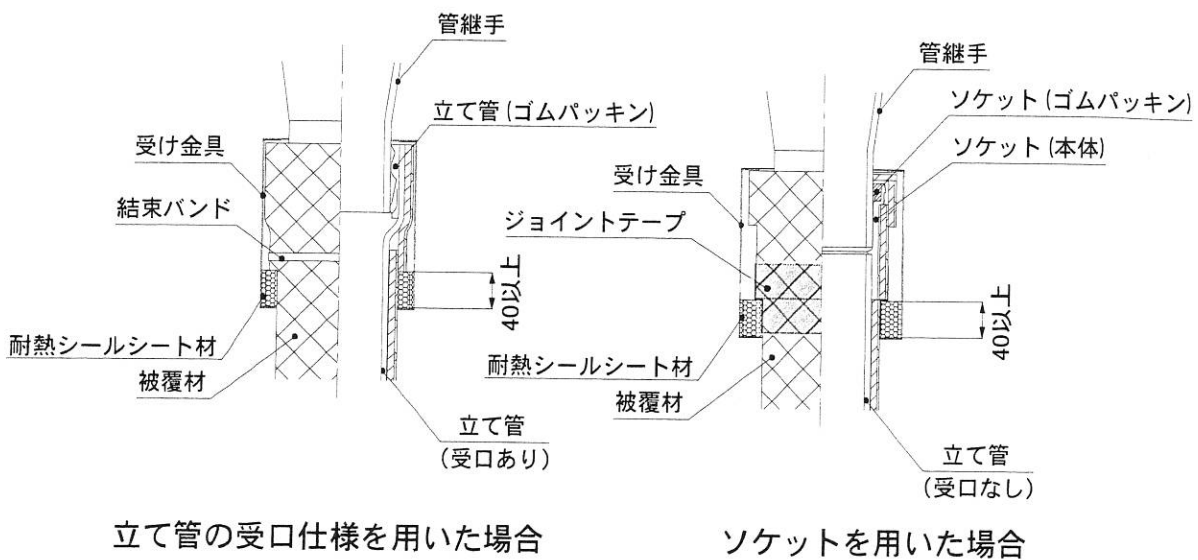
断面図

管継手下部の接続部に立て管の受口仕様を用いた場合 (代表例)

図3 構造説明図(施工図)



管継手の詳細図(代表例)



立て管の受口仕様を用いた場合

ソケットを用いた場合

管継手下部の接続部詳細図

図4 構造説明図(施工図)

6. 施工口法：

施工は、以下の手順で行う。

(1) 貫通開口部の設定

配管サイズ及び占積率を考慮して貫通開口部を設ける。

(2) 貫通部措置材を設置

＜貫通部措置材①ありの場合＞

1) パッキン材の取り付け

管継手にパッキン材の界面に接着剤を塗布してから、止水の為パッキン材を装着する。

2) アルミニウムはく張ガラスクロス張パルプ混入ロックウールフェルトの取り付け

パッキン材の下部の位置にアルミニウムはく張ガラスクロス張パルプ混入ロックウールフェルトを巻き付ける。

3) 粘着テープの貼り付け

パッキン材とアルミニウムはく張ガラスクロス張パルプ混入ロックウールフェルトの境目、アルミニウムはく張ガラスクロス張パルプ混入ロックウールフェルト同士の境目、アルミニウムはく張ガラスクロス張パルプ混入ロックウールフェルトと管継手の境目に粘着テープを貼り付け、パッキン材及びアルミニウムはく張ガラスクロス張パルプ混入ロックウールフェルトを固定する。

＜貫通部措置材②ありの場合＞

1) 熱膨張材混入樹脂シート取り付け

管継手に熱膨張材混入樹脂シートを隙間が無いように巻きつける。

2) テープの貼り付け

その上にテープを巻き付ける。

(3) 埋戻し

セメントモルタルにて埋め戻し、隙間がないことを確認して仕上げる。

(4) 配管の設置

＜ソケットありの場合＞

管継手下部にソケット、立て管を挿入し、支持・固定する。

＜ソケットなしの場合＞

管継手下部に受口付硬質ポリ塩化ビニル管を挿入し、支持・固定する。

(5) 受け金具の取り付け

耐熱シールシート材付受け金具をビスで管継手下部に取り付ける。

(6) テープ留め

配管と被覆材端部、被覆材同士の合わせ目にジョイントテープを巻きつける。